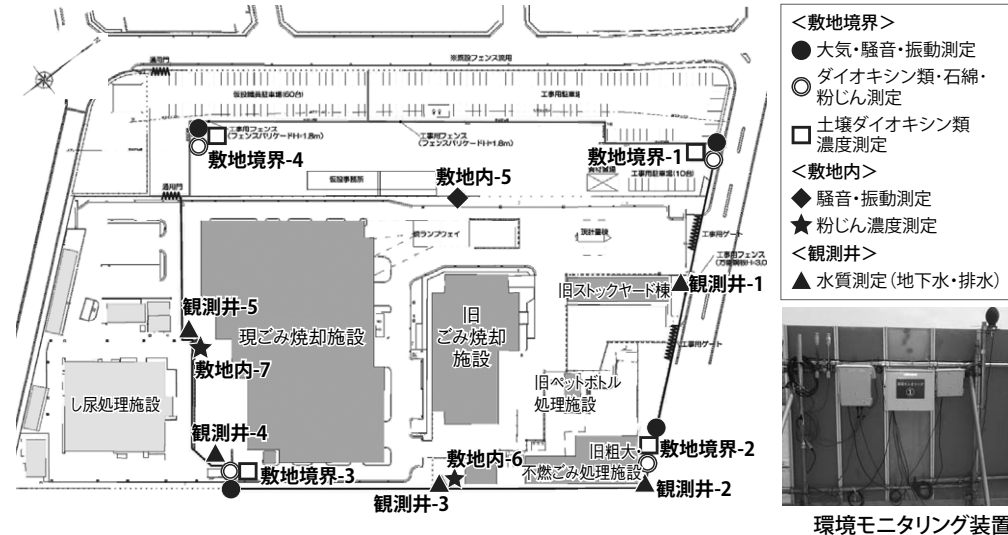


2-2. 環境モニタリング測定箇所

工事敷地内での環境モニタリング測定箇所は、次の通りです。

粉じん、騒音、振動は、図の位置に計測装置を設置し、常時計測を行っています。



2-3. 環境モニタリング測定結果

平成29年9月の環境モニタリング測定結果は、下の表の通りです。

項目	環境モニタリング測定結果
粉じん (基準値:0.2mg/m ³)	測定地点 6カ所(敷地境界4カ所、敷地内2カ所) すべての地点で作業中の基準値の超過はありません。
騒音 (基準値:85dB)	測定地点 5カ所(敷地境界4カ所、敷地内1カ所)のうち、 すべての地点で作業中の基準値の超過はありません。
振動 (基準値:75dB)	測定地点 5カ所(敷地境界4カ所、敷地内1カ所) すべての地点で作業中の基準値の超過はありません。
ダイオキシン類(大気中) (基準値:0.6pg-TEQ/m ³)	測定地点 4カ所(敷地境界4カ所) すべての地点で基準値を下回っていました。
石綿(大気中) (基準値:1f/L)	測定地点 4カ所(敷地境界4カ所) すべての地点で基準値を下回っていました。
地下水	一部の地下水採取地点でヒ素、フッ素の環境基準値の超過がありましたが、 工事前及び前月測定値との大きな差異はありませんでした。 今後も継続して確認を行います。

問い合わせ先

工事に関する情報は、高砂市ホームページで随時更新しています。

・高砂市ホームページURL：<http://www.city.takasago.lg.jp/>

▶ 工事に関するお問い合わせ

生活環境部広域ごみ処理施設建設推進室

電話：079-448-8766

FAX：079-448-9179

メール：tact2860@city.takasago.lg.jp

▶ ごみに関するお問い合わせ

生活環境部美化センター計画管理課

電話：079-448-5260

FAX：079-448-5338

メール：tact3420@city.takasago.lg.jp

【市監督員のつぶやき】～煙突の解体？～

通常、建物の解体は地上から圧砕機という大きなはさみのついた重機で少しずつ握りつぶすように解体します。しかし、高さ59mのコンクリート製煙突を、地上から解体する重機はありません。建物なら、上階にクレーンで重機を持ち上げ、少しずつ上部から解体します。また、最近では油圧ジャッキで建物を持ち上げ、だるま落としのように下階から解体する方法もあります。しかし、タテヨコ5m×5mの煙突ではそれも不可能です。ではどうやって解体したのか？ …ワイヤーソー工法という方法を用いました。

ダイヤモンドのついたワイヤーを煙突の周りに一周させ、そのワイヤーをモーターでグルグル1日中回し、コンクリートを切断するのです。輪切りにされた煙突は、クレーンで降ろしていきます。クレーンの性能上7～8トン程度しか吊り下げることができないため、重量がそれ以下になるように煙突の切断間隔を計算し、高さ90cmごとの輪切りとすることが決められました。そして、59mの煙突は約1か月かけて、建物の高さまで解体し終わりました。あとは地上から解体です。アメリカなら爆破により一瞬で解体する方法もあるでしょうが、ここでは着実に日々90cmごと低くなる煙突を見上げ、工事の進捗を見守りました。

煙突は低くなりましたが、今日も現場では高らかに掛け声が聞こえます。『ご安全に！』

発行:2017年11月(第2号)

広域ごみ処理施設建設工事 通信



※現場全景(北西)

東播臨海広域市町村圏(高砂市、加古川市、稲美町、播磨町)における広域ごみ処理施設建設工事の進捗状況等についてお知らせします。

お知らせの内容

1. 解体工事の進捗状況

- 1-1 北側旧建屋
- 1-2 旧ごみ焼却施設
- 1-3 現ごみ焼却施設
- 1-4 環境保全
- 1-5 工事工程表及び工事関係車両台数

2. 環境モニタリング状況

- 2-1 環境モニタリングの実施内容
- 2-2 環境モニタリング測定箇所
- 2-3 環境モニタリング測定結果

高砂市

1. 解体工事の進捗状況

1-1. 北側旧建屋

旧ストックヤード棟を除き、地上部分の建屋解体、整地が完了しています。
11月下旬から、地下部の解体作業を開始します。

1-2. 旧ごみ焼却施設

焼却炉内や装置類のダイオキシン類除染作業を実施し、適切に除染ができていることを分析測定により確認しました。現在は内部機器の解体作業中です。作業中は空気中の粉じんを捕集する集じん機及び散水等により防じん対策を行っています。また、建屋に隣接する仮設テントを設置し、建屋内部の密閉性を確保し、負圧管理を行いながら作業を行っています。

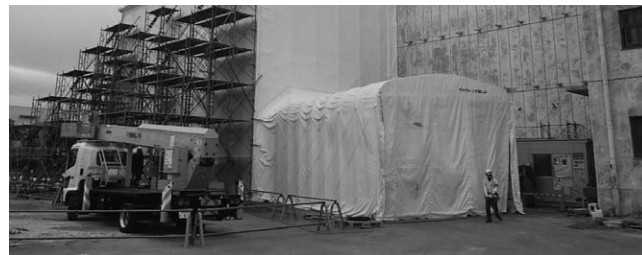
解体工事中の環境保全に努めるために、次の設備を設置しています。

- 建屋外周の目隠し、防音用シート
- 除染作業時に発生する粉じんの捕集や建屋内を負圧化して粉じんの飛散を防止するための集じん機
- 除染に使用する水を繰り返し再利用するための排水処理設備

建屋解体は内部機器の解体作業完了後に開始します。



旧ごみ焼却施設全景 (10/6撮影)



仮設テント (10/6撮影)

1-3. 現ごみ焼却施設

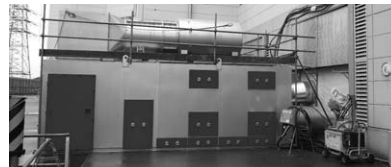
除染作業の準備として集じん機等を設置し、建屋内部の内装材の撤去が完了しました。現在は、焼却炉内や装置類のダイオキシン類除染作業を実施しています。

旧ごみ焼却施設と同様に、解体工事中の環境保全に努めるために、空気中の粉じんを捕集する集じん機、除染工事で発生する除染水を処理して再利用する排水処理設備を設置しています。

また、煙突上部の解体作業については、昇降式足場(リフトクライマー、せり上げ足場)を用い、頂部からリング状に順次切断・降ろし、地上で小割りを繰り返しながら実施しました。(煙突下部は建屋解体時に実施します。)



煙突解体 (10/12撮影)



集じん機 (10/12撮影)



排水処理設備 (10/6撮影)

1-4. 環境保全

工事車両の通行に際して、環境保全に努めるため次の設備を設置しています。

- 工事車両による粉じん発生や道路の汚れを防止するための湿式自動タイヤ洗浄機
- 建設資材、廃材運搬車両の過積載を防止するため、積載重量を確認するトラックスケール計量機

また、本事業の工事関係車両であることを明示するため、車両前面にマスク表示をしています。



湿式自動タイヤ洗浄機・トラックスケール計量機 (10/6撮影)



マスク表示

1-5. 工事工程表及び工事関係車両台数

平成29年10月までの実績と平成30年2月までの予定をお知らせします。

平成29年~30年	8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月		
	10	20	31	10	20	30	10	20	31	10	20	30	10	20	31	10	20	31	10	20	28
解体工事																					
【北側旧建屋】	<ul style="list-style-type: none"> ◆計量・ストックヤード ◆粗大・不燃ごみ ◆ペットボトル処理 																				
【旧ごみ焼却施設】	<ul style="list-style-type: none"> 石綿含有材撤去(建屋内) 石綿含有材撤去(折板屋根) ダイオキシン類除染(1次) → 分析 → ダイオキシン類除染(2次) 建屋解体(内部機器~建屋内躯体~外壁) シートパイル 地下躯体解体 足場一部解体、前室テント設置 																				
【現ごみ焼却施設】	<ul style="list-style-type: none"> 除染準備/除染設備設置/ダイオキシン類除染(1次) → 分析 → ダイオキシン類除染(2次) 内装解体 外部足場組立 シートパイル 煙突解体 建屋解体(内部機器~建屋内躯体~外壁) ランプウェイ解体 																				
工事関係車両																					
※1	内部の詳細調査及び分析(ダイオキシン類・石綿)の結果により工程を見直す場合があります。																				
【通勤用】	計画	30台/日	30台/日	30台/日	30台/日	30台/日	30台/日	30台/日	30台/日	30台/日	30台/日	30台/日	30台/日	30台/日	30台/日	30台/日	30台/日	30台/日	30台/日	30台/日	
	実績	25台/日	28台/日	26台/日	27台/日	25台/日	25台/日														
【工事中】	計画	45台/日	45台/日	30台/日	30台/日	32台/日	32台/日	41台/日	41台/日	41台/日	41台/日	40台/日	40台/日	51台/日	51台/日						
	実績	4台/日	6台/日	5台/日	5台/日	4台/日	5台/日														
※2	内部の詳細調査及び分析(ダイオキシン類・石綿)の結果により工程を見直す場合があります。																				
【コンクリートミキサー車】	計画	0台/日	0台/日	0台/日	0台/日	最大30台/日	0台/日	0台/日	0台/日												
	実績	1台/日	0台/日	0台/日	0台/日																
<備考>	※1：工事関係車両(通勤用・工事中)は日平均で示しています。 ※2：コンクリートミキサー車は該当月の日最大数を記載しています。																				

2. 環境モニタリング状況

環境保全対策を確実に実施することで周辺環境への影響に配慮した工事を行います。
また、環境モニタリングを実施することにより、工事が適切に行われていることを確認します。

2-1. 環境モニタリングの実施内容

実施する環境モニタリングの内容は次の通りです。

保全項目		環境モニタリング(解体工事期間中)
大気	粉じん	敷地境界線上4地点/工事前1回、工事中毎日 敷地内2地点/工事前1回、工事中毎日
	ダイオキシン類	敷地境界線上4地点/工事前1回、工事中月1回
	石綿	敷地境界線上4地点/工事前各1回、工事中月1回
土壌	ダイオキシン類	敷地境界線上4地点/工事前各1回、工事中に2回
騒音・振動	一般環境騒音	敷地境界線上4地点/工事前1回、工事中毎日 敷地内1地点/工事中毎日
	沿道環境騒音	市内8地点/年1回
	一般環境振動	敷地境界線上4地点/工事前1回、工事中毎日 敷地内1地点/工事中毎日
	沿道環境振動	市内8地点/年1回
水質	排水	1地点/工事中月1回
	地下水	敷地内観測井5地点/工事前各1回、工事中月1回
交通	車種分類別交通量	市内8地点/年1回
	交差点交通量	市内7地点/年1回